

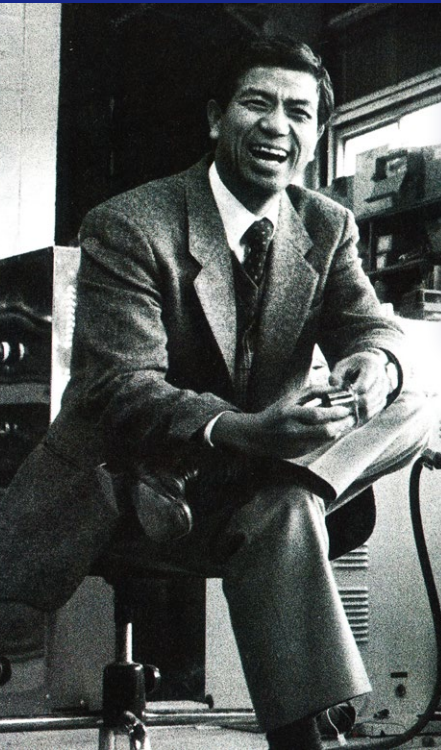


**cic** 長州産業株式会社

**CIC** 長州産業の価値  
**VALUE** 創業から現在まで  
 繋ぐ思い



# 1980年



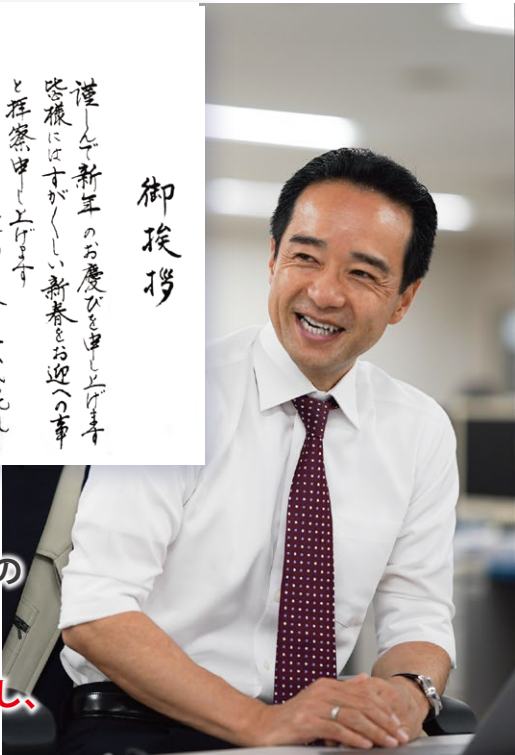
「御挨拶」  
謹しんで新年のお慶びを申し上げます。昨年  
皆様にはすがすがしい新春をお迎へ之事  
と存察申し上げます。  
さて昨年は激動の八〇年代混沌と  
不透明な時代等々騒がれ第二次石油  
危機以来資源の見直し省エネ等が  
含み業のうちに云われ原油価格の引上げ  
にうて物価が高騰を続け誠に厳しい  
一年でありました。そのような状況下には私  
は昨年九月二十日(例)長府製作所の  
取締役製造部長を辞任し十九年間  
勤めつた会社を円満に退職致した  
思い起せば入社当時(昭和二十六年)年商  
二億円に足らない企業でしたが今や第二の  
ソニーと呼ばれ年商三百五十億を越  
す超優良企業に成長するに至るまで  
総務部長製造部長の要職を歴任し  
幅広業務を勉強させて戴きました事  
に感謝しております。  
退職当時コンビエンスストア、ミニバー  
等の研究を行ないました。仲々思うに  
まかせず併せて国を挙げて省エネに  
取組んでいる現状から勘案して及ばず  
乍ら私共の施策に多少なりとも  
役立つことが出来るならばと思考し敢  
えて奮勇をふるいここに「長州産業  
株式会社」として過去の経験を生かして  
省エネ機器の製造販売を行なうことに  
踏み切った次第であります。  
風呂好きで日本人にとってふんだんに  
お湯が使える豊かな生活は誰もが願う  
ところとす。

「ソニー元年」とまで云われた昨年に  
比べ今年に既に数十社のメーカーが乱立  
しやう。激戦が予想されまうが過去の  
経験を生きて従来には製造も開発も  
戦列に加わり長州産業の知名度の高揚  
を図りたいと存じます。  
不況風の吹きよめる此の時期に敢えて  
新たに事業を興すことが出来るものか  
充分熟知しつゝありやうが徳川三百年の  
封建社会を覆し近代社会を築いた長  
州人の先輩諸氏の心意気を多少  
なりと引継ぎ不退転の決意を以って  
邁進する所存でございます。  
浅学未熟ではございますが迅速敏捷  
も賜り度々お願い申し上げますと共に  
お取引の末席に加えて戴きますれば  
望外の幸と存じます。  
本来ならば御拝見の上お願い申し上げ  
べき所先ずは略儀ながら書中を以て  
御挨拶申し上げます。

昭和五十六年一月吉日  
敬具  
山口県小野田市曲高泊大塚園地  
長州産業株式会社  
取締役社長 岡本 要

新規取引を願って住宅機器設備店へ出した挨拶文

1980年10月、岡本要が給湯機メーカーとして長州産業を創業。  
『風呂好きの日本人がふんだんに使えるお湯を提供したい』という  
素朴な想いが原点。  
『封建社会を覆し、近代社会を築いた長州人の先輩諸氏の心意気を多  
少なりとも引き継ぐ決意』を持って、社名を長州産業とした。



# 2025年

01 風呂好きの日本人が  
ふんだんに使えるお湯を

従来にない製品やサービスを開  
発、提供し、幸せな世の中づくりに  
お役立ちする。祖業の給湯機は、8  
0年代初頭まだ目新しかった省エ  
ネ機器。狂乱物価で疲弊した人々か  
ら支持された。この素朴な思いが、  
長州産業の原点。  
長州は世の中から必要とされるオ  
ンリーワンの会社となる。長州の名  
は人々の幸せな世の中づくりにお  
役立ちする決意の表明。

02 ファンをつくろう

長州ファンをつくろう。長州の製  
品が好き。長州のサービスが好き。  
長州の人と共に仕事をするのが好  
き。一つひとつ信頼を積み重ね、お  
客さまやご支援、ご指導いただく  
方々にも長州のファンになっても  
らう。  
長州の最高の売りものは長州で  
働く自分たち。そんな気持ちを持っ  
て世界でファンづくり。

03 死にやあせん、  
やってみい！

新しいこと、できないことに挑戦  
する。常識を疑い、自らの力で挑戦  
し、道を切り拓く。現状維持、今の繰  
り返しでは未来はない。  
挑戦は不安で怖いこともある。こ  
の言葉は創業者が皆を鼓舞する時  
きの口癖。失敗してもその経験を成  
長の肥やしにしてまた立ち上がる。

04 馬鹿になれ

分かったつもり、賢いつもりは愚  
の骨頂。自分の無知、力不足を認め、  
虚栄心を捨て、馬鹿になりきり全力  
で物事に取り組む。  
常識にとらわれず、失敗を恐れ  
ず、馬鹿になって決めた道を突き進  
む。それが自分自身を成長させると  
共に、その愚直な姿は人を惹きつ  
け、大きなうねりを生んでいく。

05 他責にしない

問題が起きたとき、誰かのせいに  
するのは簡単。しかし、そこに自分  
の成長はない。  
すべての出来事を自分のことと  
して受け止める。環境や人のせい  
にせず、自分の行動と向き合う。「自  
分に足りなかったことは何か」を問  
うて行動を改善する姿勢が、自らを  
成長させ、周囲の信頼を勝ち取っ  
ていく。

06 即実行、  
評論家はいらない

仕事のスピード、実行力は会社の  
競争力の源泉。いくら良いプランを  
立てても、実行できなければ絵に描  
いた餅。与えられた時間は皆平等。  
スピーディに実行する。  
行動を伴わない評論家となっ  
てはならない。大企業病は衰退に向  
かう危機。世の中の変化のスピード  
は加速している。早くやれば、動き  
ながら修正できる。

07 挨拶は心の握手

コミュニケーションは挨拶から。  
明るく声を掛け合えば、お互いの心  
が近づく。心をついに一枚岩となっ  
たチームは、苦境を乗り越える強さ  
を持つ。  
挨拶はチーム結束力のバロメー  
ター。

08 人の能力は大差なし

人が生まれながらに持つ能力に  
大した差はない。差があるのは人の  
意志の力。  
物事に真剣に取り組み、脇目も振  
らずやり抜こうとする意志の力は  
岩をも穿つ。そこに能力は関係ない。

09 お客さまに驚きを

高いレベルの仕事を徹底し、お客  
さまに驚きを提供する、喜んでもら  
う。長州の太陽光パネルの実測出力  
は定格値を必ず上回っているのは、  
お客さまに喜んでもらおうという  
創業者の想いから。  
価格、性能、サービスについてお  
客さまの要求は厳しい。だからこ  
そ、日々の地道な業務を徹底して、  
お客さまの期待を超えていく姿勢  
を貫く。

10 一人ひとりが  
価値創造の主役

凡事を徹底する。現場の作業を改  
善する。事務を効率化する。営業時  
の気付きをやってみる。日々の仕事  
の中に価値創造の種が埋もれてい  
る。これまでの常識にとらわれず、  
一人ひとりが小さな改善を積み重  
ねることで、会社全体で大きな価値  
が創造されていく。  
生き生き、伸び伸び働ける人間中心  
の職場で創造力を発揮する。

11 我以外皆我師

自分以外は全て自分に何か教え  
てくれる先生。謙虚な気持ちで日々  
の仕事に臨めば、周りには成長のチャン  
スだらけ。奢りは自滅する。  
自分が成長し、チームが成長すれ  
ば、世の中はそんな長州に成長を促  
す。会社の成長は、一人ひとりにさ  
らなる成長機会をもたらす、そんな  
世の中との好循環を作り上げる。

12 一歩ずつ、果敢に

事業には必ず波がある。良い時も  
悪い時も、浮かれず焦らず、やるべ  
き仕事に集中し、一歩ずつ前進して  
いく。中には高い壁を乗り越えるこ  
とになる一歩がある。その一歩を果  
敢に踏み出すことが、大きなステッ  
プアップにつながる。  
成長は地道で果敢な一歩の積み  
重ね。